

## 会員は「せり鍋」で盛り上がる 仙台名物は「牛タン」だけではない

東北支部事務所長 氣仙浩一



仙台的冬も本番と思いきや、一転して暖冬とおかしな天気が年末から続いています。昨年、みどりのきずな植樹など、各支部会員の皆様、ご協力ありがとうございました。東北支部が事務所を構える仙台市は、地下鉄東西線の開通やJR仙台駅前周辺の整備で活気があります。一方、被災地の沿岸部は、徐々に復興が進んでいますが、まだまだだと感じます。

昨年、被災地の東松島市大曲地

仙台せり鍋を囲む会（第4回）の様子。右列奥が氣仙事務所長



区に松の苗を植樹しましたが、発育が悪いのが気がかりです。今年も東松島市小野地区への植樹が予定されているので、その際も、よろしくご協力お願いいたします。

ところで、仙台の食べ物と言えば「牛タン」と思うでしょうが、もう一つ、今が旬の食べ物があります。

仙台を訪れる観光客やビジネス

マンにひそかに人気なのが仙台せり鍋です。せりは、皆さんもご存じのように「春の七草のひとつ」であり、誰でもわかる少し癖のある野菜です。仙台では正月のお雑煮に欠かせない野菜であり、この時期、仙台近郊の名取市で露地栽培が盛んです。

### 仙台せり鍋

は、鳥肉（鴨）

や豚肉を醤油

ベースのダシ

と一緒にせり、

ねぎ、豆腐などと煮込んで食べます。家庭でも簡単に作れます。せりは、あまり煮込まずシャリシャリ感を味わって食べます。根もすこぶるおいしくて、栄養満点、ベータカロテンを多く含み、老化防止生活習慣病の予防にも効果があるそうです。仙台では10月頃から、居酒屋にせり鍋のメニューが登場します。

昨年は「せりパ」（正式には、仙台せり鍋を囲む会）発起



人K)を4回開催しました。記念すべき第1回には、谷口支部長にも参加していただき、新規加入会員（2社）の歓迎会を行いました（こ

こだけの話ですが支部長は、せりのうんちくが長い）。

その後、参加する会員（日遊協など）が増え、今ではせり女（仙台せり鍋を愛する女性）も数人加わり、せ

り、地酒、そしてパチンコの話で盛り上がっております。その後酔いが回ると、逆に呂律が回らなくなり、何の会か不明で、お開きとなります。が、Kさんは、ここから真骨頂、自慢のものを披露するため、国分町へ消えていくのです。

4月になると、そろそろ「せり鍋」もメニューから消え、同時に仙台も春の訪れとなります。来仙の際は、是非、ご賞味下さい。ご案内します。ご連絡はKまで。